



平成 18 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏  
(コード番号:3715)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 松 本 康 一 郎  
(TEL. 03-3664-5477)

### 平成 18 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

当社は、平成 18 年 2 月 20 日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 17 年 11 月 14 日付当社「決算短信」において公表いたしました平成 18 年 9 月 期 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日) の連結業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、平成 18 年 9 月 期 個 別 業 績 予 想 に つ き ま し て は、平成 17 年 11 月 14 日に公表した業績予想に修正はございません。

#### 記

#### 1. 平成 18 年 9 月 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 17 年 11 月 14 日(A))	18,900	1,800	1,150
今 回 修 正 予 想 ( B )	21,800	1,800	170
増 減 額 ( B - A )	2,900	—	△980
増 減 率 ( % )	15.3%	—	△85.2%
(ご参考)前期(平成 17 年 9 月 期)実績	18,087	3,326	854

#### 2. 修正の理由

今回の連結業績修正におきましては、新たに株式会社チュンソフト、株式会社スパイク両子会社株式の共同移転方式により設立された株式会社ゲームズアリーナの連結業績への適用ならびに平成 17 年 11 月の株式会社スパイクの子会社化に伴い、連結調整勘定の一括償却を行うことが主な要因であります。

売上につきましては、ゲーム事業におきまして、新たに株式会社ゲームズアリーナが連結対象となることにより、当初計画に比べ 29 億円増加しておりますが、経常利益におきましては、次世代機向けの研究開発投資の投入をはじめとした費用が先行する時期であることから、株式会社ゲームズアリーナの連結による利益の貢献は見込んでおりません。

また、当期純利益におきましては、株式会社スパイクの子会社化に伴い、連結調整勘定9億82百万円の一括償却を行い特別損失として計上いたします。

以上の結果、通期の連結業績見通しについては、売上高218億円(前期比20.5%増)、経常利益18億円(前期比45.9%減)、当期純利益1億70百万円(前期比80.1%減)を見込んでおります。

3. 平成18年9月期個別業績予想(平成17年10月1日～平成18年9月30日)

平成18年9月期個別業績予想につきましては、平成17年11月14日に公表した業績予想ならびに配当予想に修正はございません。

【ご参考】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成17年11月14日)	18,000	1,650	1,000
(ご参考)前期(平成17年9月期)実績	17,941	2,184	1,474

1株あたり年間配当金 2,000円

以上